

日田隈城と佐伯城

小野 英治

(会員 佐伯市弥生)

昭和五十八年三月三十一日発行の『大分県史近世篇Ⅰ』の「佐伯藩・城下町の建設と蒲江の町割」の項で、佐伯城築城を次のように記しています。

「温故知新録」によれば、城の普請に取りかかったのは慶長七年のことである。城の形が鶴の舞う姿に似ていたため鶴ヶ城（鶴屋城）と名付けたという。山頂には三層の天守をもつ本丸を中心に二の丸・北の三の丸・丹波丸がつくられた（佐伯藩政史料）。当時の史料をみると、山頂の城郭を山城とよんでいたこと、また山麓にも屋敷がおかれ「下屋敷」といわれていたことなどがわかる。「下屋敷」今の佐伯文化会館の位置にあつたと考えられる。現在、会館入口に残る櫓門は「三の丸櫓門」といわれる

【佐伯藩史料】

慶長拾七年「山城御道具預帳」抜粋

慶長拾七年

山城御道具預帳

米倉集

五ノ月廿一日

秋九月

二ノ丸 矢倉

山城

少三ノ丸 矢倉

御道具預帳

丹波丸 矢倉

ち

西丹波

五ノ丸 矢倉

下ノ丸 御道具預帳

丹波丸 矢倉



当で、文中に「たんこ丸」と平仮名の記入もあり、後を波と誤読しています。

なお、この種の書類として、日根野氏が府内城を明渡した時の明暦二年（一六五六）五月十五日付の「御城諸道具改帳」（故上田保氏旧蔵、現国立図書館蔵）があります。

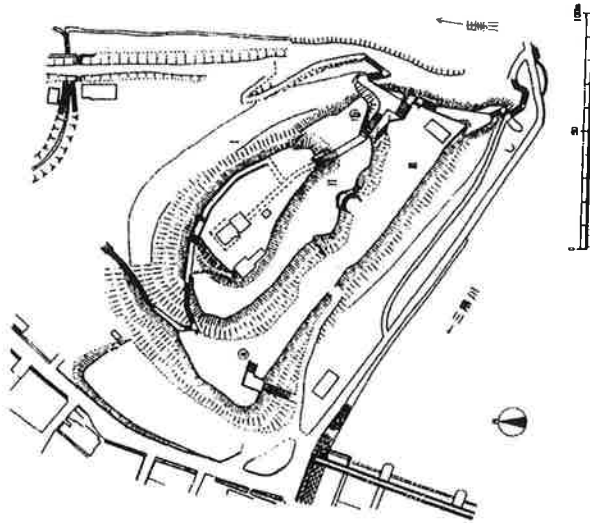
つまり日田隈城の明渡しを予想して作成されたものと考えられますが、中に佐伯関係の書類と日田・玖珠関係の書類があるところから佐伯城とする人もいるようです。これは先に記したように毛利氏が佐伯と日田を管理していたこと、慶長六年（一六〇一）佐伯へ転封となつても、当時佐伯の母牟礼城は廃城となつていたところから、新城を築くことになるのですが、書類・道具類は日田にそのまま保管し、佐伯関係の諸書類も日田に運ばれたとみてよいようです。

それは「本丸たもん帳江戸へ」の中に「日田四郎左衛門進上の鑑」や「元和六年申三月廿日御下屋敷瓦蔵改帳」に「佐伯ニて掛け候きらうそく」や「右之分鑑ニ預り置申し候間、此帳面無相違之様、重て御算用可仕申候。又此写の御判紙帳預り置申候。以上 元和六年申三月廿日

大分県文化財調査報告書 第一七〇輯

「大分の中世城館」第四集 総論編

第一六〇図 日隈縄張り図



毛利丹後 井上式部」から日田と佐伯の關係が想像されますが、慶長十七年の「山城御道具預帳」末尾には「西丹後花押・墨藤右衛門花押・並河隠岐花押」がみられ、

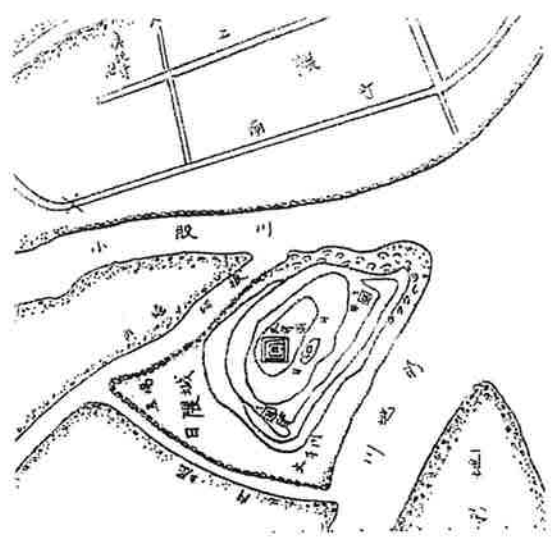
西丹後は西名丹後の略で、丹後丸と関係したものでしょう。後に毛利氏を称したものととも考えられます。

日田隈城について「亀山・日隈山」田中晃著によれば「文禄三年（一五九四）豊臣秀吉の代官宮木長次郎が日隈山に城を築き、刃蓮郷田嶋村にあった古来の日田の町を竹田村隈川原に移し城下町とした。これが隈城の始まりである。その後慶長元年（一五九六）宮木氏に代わって毛利伊勢守高政公が着任し、日隈城を改築して五層の天守閣と三層の櫓を建て堅固な城とした。」と記しています。
佐伯城は「三層の天守南向」と伝わっていますが、「元和六申年・天主御道具改帳」によれば、内部は下段・式ノ段・天主三ノ段・天主四段・天主五段・天主上段とあって、六階と考えられます。慶長期天守は外観五層内部六階は一般的であり、日田隈城の天守と合致するのです。

次に慶長十七年と元和六年の件ですが、慶長十七年当時に城明渡し時の空気があったものかとも推測できませんが、毛利氏は元和二年まで十六年間政務していたとされているものの、残務整理で留守番が置かれていたとも推測さ

田中晃著「亀山・日隈山」

（推定・日隈城及隈町地図）より



れます。又隈城が完全に廃城となるのは寛永年中とされています。

※表紙は天守、内表紙以下は天主と記してある。

現在、日田隈城跡は石垣の一部を残すのみで天守台も確認できないほどですが、瓦片が散見され立派な建物が

あつたことは想像出来ず。

佐伯城（築城当初、塩屋城・鶴ヶ城）は、本丸・外曲輪・二之丸・西出丸・北出丸・三之丸からなり、丹後丸や北の三の丸・下屋敷・本丸たもん・か年（鐘）の丸等の記入図はありません。日田隈城当時の図があればよいのですが、これは現在確認されておりません。

結論として、日田隈城の「御道具預（改）帳」等の作成は必要であつたが、慶長・元和当時、佐伯城はその必

要がなかったということですが。慶長六年毛利氏が佐伯へ

入部する以前、その大部分は公領（太閤蔵入地）で同氏の管理地であつたとする説もあります。

〔注〕慶長・元和年中の文書（佐伯市教育委員会所蔵）解説にあたり、佐伯史談会林寅喜氏と矢野徳弥氏の御指導に感謝申し上げます。



日田隈城（亀山公園）



日田隈城山頂部（天守跡）



日田隈城（伝大手門跡石垣）